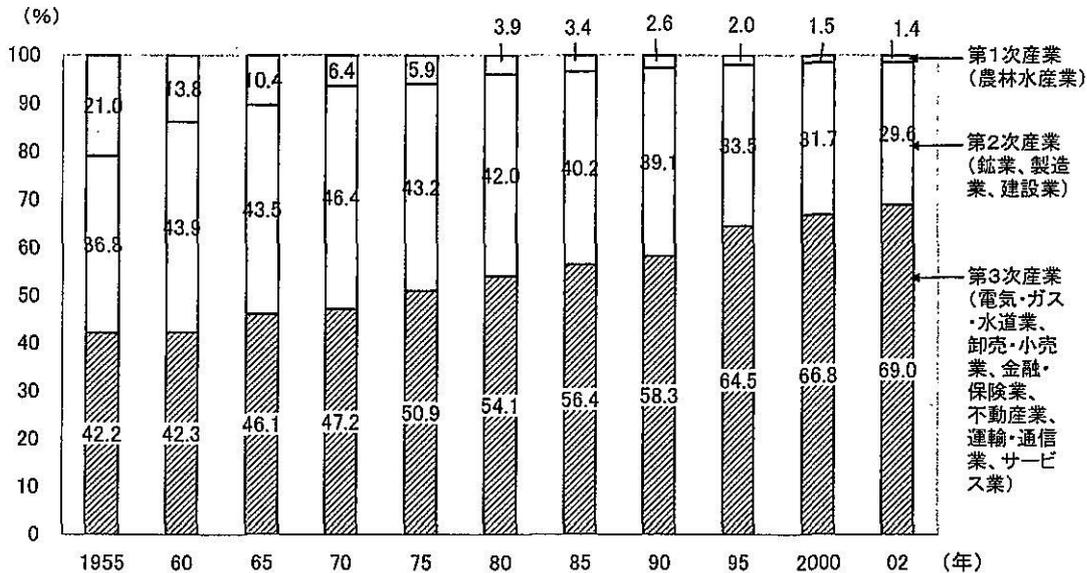


名目GDPに占める第1次、第2次、第3次産業の割合の推移

サービス経済化が進展しており、第3次産業が我が国の名目GDPに占める割合は、1955年にはおおよそ4割だったのが、2002年にはおおよそ7割近くにまで増加している。一方、第2次産業の割合は3割を切るに至っている。



資料出所: 内閣府「国民経済計算」

注) ここでの名目GDPは、政府サービス生産者及び対家計民間非営利サービス生産者を除いた数値。

・1980年以前は68SNA・1990年基準計数、1985年以降は93SNA・1995年基準計数。